

## 「日本航空破綻後10年の軌跡と、今後の展望」

日時：7月7日(火) 16:50-18:35 (5限)  
オンライン講義によるライブ実施

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、日本航空株式会社 常務執行役員 西尾忠男 氏からお話を伺います。

2010年1月19日に会社更生法の適用を申請してから10年が経ちます。事業規模縮小、債権放棄、100%減資、公的資金の投入という一連の流れを経て再上場し、現在に至っています。

2020年以降の航空業界全体では、首都圏空港機能強化、オリンピックやパラリンピックなどのプラスの環境変化がある一方で、新型コロナウイルスにおける大幅な移動規制に伴う未曾有の危機に直面しています。

本講義では、1)破綻から10年が経った今、西尾氏が経験した、破綻から再生までのプロセス及び意識改革等の取り組みについての振り返り、2)今後の日本の航空業界の方向性について考察します。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生もアクセス願います。

(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方はアクセス出来ません。)

※オンライン授業URLは授業開始前にUTASで確認すること。資料はITC-LMSにおいて本科目を仮登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。

※授業の実施形式に変更ある場合にはHPにおいて周知するので注意すること。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット [ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp](mailto:ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp)



日本航空株式会社  
常務執行役員  
西尾 忠男 氏